

## カレンダーのある風景

＝手芸クラブの力作が各クラスへ＝



9月から祖父母参観に始まり、老人ホーム慰問～大運動会～電車遠足～クリ拾い～お芋掘り～恐竜公園へ遠足～合唱祭～ぜんりん文化祭と行事が矢つぎばやに続きました。郊外へ出る場合は、放射線量を測定しながら、安全のための下見を行います。一箇所行くのに2度足を運ぶことになるので、準備にも時間がかかります。

秋の日は、屋外に出ると外敵も多く、マムシや毛虫・ウルシ、ズズメバチなどの毒を持つ動植物には要注意です。……以下は職員会議での会話です。

「あら、あとちょっとでクリスマス発表会だわ！ うかうかしてられないわ」と久恵先生。

「あれま、ホントに秋はあっという間に日が過ぎていくわ」と驚いた様子の桂子先生です。

こんな会話を知ってか知らずか、保護者の手芸クラブ（船橋和恵会長）から、ぜんりん文化祭で展示したカレンダー3幅の寄贈がありました。

昨年はゆき組用に1枚でしたが、今年はひよこ組とはな組、ほし組に計3枚が贈られ、それぞれの教室に飾ってあります。

いずれも力作で、細かい部分まで創意と工夫が加えられていることが分かります。子どもたちが毎月カレンダーの数字を変えることで、季節の変化を知るきっかけにもなることでしょう。

世界に一つしかないカレンダー、大事に使っていきたいと思います。

園長 今泉文彦